

令和3年度 青森支部保険者機能強化予算の執行状況について

令和3年度 青森支部医療費適正化予算について

分野	区分	取組名	予算額 (単位:千円)	執行額 (単位:千円)	残額 (単位:千円)	実施状況及び残差理由
医療費 適正化 対策	企画部門 関係	「ジェネリック医薬品希望」意思表示付き お薬手帳カバーの作成業務	3,102	2,637	465	【実施状況】 ・お薬手帳カバー、チラシ、ポスターを作成し、462件のアドバイザー・薬局へ配付。(8月) 【残差理由】 ・一般競争入札により当初予算より安価に調達できたため。
		関係団体と連携したジェネリック医薬品使用 セミナー	220	243	▲23	【実施状況】 ・青森県薬剤師会との共催により、健康保険委員を対象としたWebセミナーを開催。参加申込者は71名。事前収録した講演を1週間程度の期間を設け配信。(2月) 【残差理由】 ・当初予算では集合開催方式で計画していたが、コロナ禍の状況を踏まえ、Web開催方式に切り替えたことにより、事前収録等の諸費用が発生したため。
		重複受診者に対する適正受診のすすめと、 かかりつけ医の推奨	660	477	183	【実施状況】 ・診察券ケース及びかかりつけ医カードを作成し、対象者893名に送付。(8月) 【残差理由】 ・見積競争により当初予算より安価に調達できたため。
		ナッジ理論を活用した行動変容に結び付 ける効果的な広報	50	19	31	【実施状況】 ・青森県立保健大学の竹林博士を招き、支部の広報担当職員等を対象とした講演と支部で作成予定の広報物や勸奨文書についての助言をいただいた。(6月) 【残差理由】 ・費用が講師の講演料と交通費のみで、当初予算より安価に調達できたため。
		地元大学と連携した医療費等の分析と 広報	199	7	192	【実施状況】 ・青森県立保健大学大学院の大西教授と、青森支部の健康・医療情報分析アドバイザ―業務契約を継続。 【残差理由】 ・医療費等分析について都度アドバイスをいただく予定となっていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、日程調整ができなかったため。
	業務部門 関係	柔整療養費の適正受診にかかる広報	745	348	397	【実施状況】 ・①ポスター②リーフレット③予診票・施術申込書を作成し、県内の270の接骨院・整骨院へ配布、適正受診の周知を行った。(10月) 【残差理由】 ・①の作製について、見積もり合わせにより当初予算より安価に調達できたため。③は支部で作成したため予算の執行がなかった。
		合計	4,976	3,729	1,247	

令和3年度 青森支部医療費適正化予算について

分野	区分	取組名	予算額 (単位:千円)	執行額 (単位:千円)	残額 (単位:千円)	実施状況及び残差理由
広報、意見 発信	紙媒体による 広報	納入告知書同封チラシの作成	3,267	696	2,571	【実施状況】 ・健康保険の手続きや健康づくりに関するチラシについて、令和4年2月 本部提供による保険料率の広報を除き支部にて毎月作成。 【残差理由】 ・一般競争入札により当初予算より安価に調達できたため。
		地方自治体や関係団体と連携した健康宣言事業にかかる広報	385	225	160	【実施状況】 ・健康宣言案内パンフレットを作成し、新規登録勧奨等に活用。 【残差理由】 ・見積競争により当初予算より安価に調達できたため。
		協会けんぽのしおり（小冊子）作成	1,200	1,122	78	【実施状況】 ・支部独自で健康保険制度等について説明する冊子を作成し、各種研修会等で活用。 【残差理由】 ・一般競争入札により当初予算より安価に調達できたため。
		限度額適用認定証 利用促進チラシ	201	44	157	【実施状況】 ・健康保険委員がいる事業所を対象に、限度額適用認定証の申請書及び利用促進のチラシを送付し、従業員への周知等の協力を依頼した。（8月） 【残差理由】 ・チラシの作製について、見積もり合わせにより当初予算より安価に調達できたため。
	その他の 広報	新聞広告（地方紙）による協会けんぽ青森支部の広報	535	342	193	【実施状況】 ・東奥日報にインセンティブ制度の周知についての広告を掲載。（8～9月、12～2月） ・東奥日報が新年度に特集する“各経済団体トップの「新年度の抱負」”に支部長の記事を掲載（3月） 【残差理由】 ・当初予算より安価に調達できたため。
		インセンティブ制度についてwebや情報誌等を活用した広報の実施	1,400	1,400	0	【実施状況】 ・「マンガで学ぼうインセンティブ制度」のLP・バナー広告を作製し、yahoo等の検索エンジンを活用した広報を実施。（7～9月） ・情報誌きらきら夏号にインセンティブ制度についてのクイズを掲載。（7月） ・上記媒体を支部HPでも展開。（10月以降）
	合計		6,988	3,828	3,160	
医療費適正化予算 合計			11,964	7,556	4,408	2

令和3年度 青森支部保健事業予算について

分野	区分	取組名	予算額 (単位:千円)	執行額 (単位:千円)	残額 (単位:千円)	実施状況及び残差理由	
健診関連 経費	集団健診	①ショッピングセンターにおける「まちかど健診」(特定健診)の実施 ②集合バス健診の実施	4,191	3,122	1,069	【実施状況】 ① 43,393人に案内送付、7会場で合計30回実施(2,864人受診、前年比+459人)。 ② 3,058事業所及び7,296人の被扶養者に案内送付、3会場で合計3回実施(前年度比+1回)(被保険者110人、被扶養者71人受診、前年比+70人)。 【残差理由】 ・まちかど健診の会場費が安価に抑えられ案内文書の作製も入札により当初予算より安価に調達できたため。	
	事業者健診 結果データの 取得	事業者健診データ取得勸奨業務	5,528	4,968	560	【実施状況】 ・外部委託により、勸奨文書の送付(488件)及び電話勸奨を実施し、同意書取得113件、健診結果データの作成3,220件(前年度比+2,283件)。 【残差理由】 ・外部委託について、入札により当初予算より安価な単価で契約できたため。	
		事業者健診データ取得に係る業務	500	209	291	【実施状況】 ・受診率の低い3,000事業所を対象に事業者健診に関するアンケートを実施し、その結果を前記の取得勸奨業務に繋げたほか、データ作成契約が未契約の健診機関に働きかけた。 ・事業者健診データ提供についての手順書を作成し、受診率が低い業態に対する提供依頼を実施した。 【残差理由】 ・アンケートの印刷・発送及び手順書作成について、見積競争により当初予算より安価に調達できたため。	
	健診推進経費	生活習慣病予防健診、事業者健診データ取得、特定健診に関して、健診実施機関の動機付けとなるよう実績に対して報奨金を支払う経費	5,027	1,098	3,929	【実施状況】 ・生活習慣病予防健診については、通年の施策で3機関、閑散期の施策で2機関、特定健診(集団健診)については1機関において目標を達成した。一方で、事業者健診データの早期取得については目標を達成した健診機関はなかった。 【残差理由】 ・生活習慣病予防健診の実施件数は増加しているものの、前年度からの伸び率2%を超える健診機関が少なかったこと、事業者健診データの早期提供件数が伸び悩んだため。	
	健診関連 経費	健診受診 勸奨等経費	次年度特定健診デビュー年齢対象者への受診勸奨	156	24	132	【実施状況】 ・次年度特定健診デビュー年齢対象者への受診勸奨を917件実施。(前年度比△64件) 【残差理由】 ・見積競争により当初予算より安価に調達できたため。
			①令和4年度健診案内に同封するチラシの作製 ②特定健診受診勸奨用のチラシ作製	4,449	3,044	1,405	【実施状況】 ① 令和4年度健診案内に同封するパンフレットを作製 ② 資格取得後の受診履歴がない被扶養者を対象に、近隣5か所の健診機関を案内した受診勸奨を9,999件実施(A4版相等の圧着はがき) 【残差理由】 ・①について、入札により当初予算より安価に調達できたため。
		ナッジ理論を活用した特定健診受診勸奨	416	191	225	【実施状況】 ・自分で健診機関を選択するというナッジ理論を活用し、直近3年間未受診で、資格取得後に受診履歴がある被扶養者を対象に受診勸奨を3,600件実施。(圧着はがき) 【残差理由】 ・見積競争により当初予算より安価に調達できたため。	
		リスク予測を特典とした被扶養者の特定健診早期受診の促進	3,300	2,200	1,100	【実施状況】 ・被扶養者の特定健診の早期受診を目的として、年度初めの健診案内において先着3,000名に健診結果からわかるリスク予測をお知らせすることを周知。1月末にお知らせを送付。 【残差理由】 ・企画競争の結果、当初予算より安価に調達できたため。	
		合計		23,565	14,852	8,713	

令和3年度 青森支部保健事業予算について

分野	区分	取組名	予算額 (単位:千円)	執行額 (単位:千円)	残額 (単位:千円)	実施状況及び残差理由
保健指導 関連経費	保健指導利用 勧奨経費	特定保健指導を勧奨するためのチラシ等の作製	176	83	93	【実施状況】 ・ 特定保健指導の利用促進を目的として、好事例を記載したチラシ（階層化のお知らせの裏面として活用）を作製。 ・ 特定保健指導の継続を目的として、取り組み状況の記録票を作製。 【残差理由】 ・ 見積競争により当初予算より安価に調達できたため。
	保健指導に係る 事務経費	保健指導に係る事務経費 (保健指導データ送料、保健指導用パンフレット作成等経費、保健指導用事務用品費、保健指導用図書購入費、公民館等における特定保健指導、保健師募集広告経費)	563	105	458	【実施状況】 ・ 保健指導用パンフレットについて、ICTを活用した特定保健指導の利用勧奨を目的として作製。保健指導データ送料等は必要に応じて執行。 【残差理由】 ・ 事務用品費は指導者の採用等を見越して計上したが、採用者だけでなく退職者もいたため購入の必要が無かった。また、まちかど健診で健診機関において当日の特定保健指導を実施したため、別途会場費が不要となったため。
	保健指導 委託	中間評価時の血液検査費、 保健指導機関委託費	3,500	2,324	1,176	【実施状況】 ・ 5機関において、特定保健指導における中間評価時の血液検査679件を実施。 ・ 1事業所において、事業所の管理栄養士が特定保健指導を実施。 【残差理由】 ・ 特定保健指導において必要に応じて実施する血液検査の実施件数が見込みより少なかったため。
	保健指導 推進経費	保健指導推進経費	535	537	▲2	【実施状況】 ・ 2機関において目標（前年度実績を超過）を達成。青森支部の特定保健指導実施率の向上に大きく寄与した。
	合 計			4,774	3,048	1,726
重症化 予防対策	未治療者 受診勧奨	未治療者受診勧奨	220	0	220	【実施状況】 ・ 既存のパンフレットを活用して、文書や訪問による勧奨を実施。 【残差理由】 ・ 前年度調達したパンフレットを引き続き活用し、調達が不要となったため。
	重症化予防 事業	重症化予防対策	55	36	19	【実施状況】 ・ 重症化予防につながるリーフレットを購入。 【残差理由】 ・ 安価なリーフレットを購入したため。
	合 計			275	36	239

令和3年度 青森支部保健事業予算について

分野	区分	取組名	予算額 (単位:千円)	執行額 (単位:千円)	残額 (単位:千円)	実施状況及び残差理由
その他 (コラボヘル ス等)	コラボヘルス 事業	データヘルス計画の推進 (コラボヘルス事業)	4,033	2,639	1,394	【実施状況】 ・ 四半期毎の健康情報誌を購入し、健康宣言事業所に対してフォローアップとして提供。 ・ 健康宣言事業所の拡大に向けて、文書及び電話勧奨を外部委託により実施。(8～9月) ・ 健康宣言事業所へ取組み状況確認のアンケートを実施。(8月) 【残差理由】 ・ 一般競争入札及び見積競争により当初予算より安価に調達できたため。
	その他の 保健事業	8020 自分の歯を大切に！ (歯科健診事業)	5,630	2,907	2,723	【実施状況】 ・ 青森県歯科医師会と歯科健診委託業務にかかる契約を締結。(4月) ・ 事業所への郵送による案内のほか、ホームページ、メルマガ等で広報を実施。年間で692名が受診。 ・ 歯科健診結果(平成28年～令和3年度)をパンチ入力によりデータ化。 【残差理由】 ・ 案内業務、歯科健診結果のパンチ入力について入札により安価に調達できたため。 ・ 歯科健診受診の受付件数減少及びキャンセル者発生のため。
		関係団体との健康づくりイベント参加 (ブース出展)	77	0	77	【実施状況】 ・ 八戸市健康パネル展に高血圧と高血糖に関するポスターを展示し、生活習慣の改善等を啓発。(10月) 【残差理由】 ・ 八戸市健康まつりでのブース出展を想定した予算だったが、コロナ禍の状況を踏まえ、規模を縮小し、健康パネルとして開催。展示したポスターも既存のものを活用したため、費用が発生しなかった。
		メタボリックシンドロームの予防解消のための生活習慣改善提案兼高血圧・糖尿病に係る受診勧奨通知	9,900	9,500	400	【実施状況】 ・ 令和2年度の健診結果を基に抽出した生活習慣病発症リスクが高い被保険者16,866名に対し、自身のメタボリスクの状況と生活習慣の改善、医療機関への受診等を促す通知を発送。(12月) 【残差理由】 ・ 企画競争の結果、当初予算より安価に調達できたため。
合計			19,640	15,045	4,595	
保健事業予算 合計			48,254	32,980	15,274	

(注) 予算額、執行額及び残額は千円未満の端数整理のため、合計額が整合しない場合がある。